

質問に対する回答

工事名) 秋田自動車道 細内川橋耐震補強工事

質問事項と回答

番号	質問内容	回答
1	発生材処分量算出のため、既設立入防護柵のコンクリートブロック基礎寸法をご教示ください。	基礎ブロック寸法は 400×400×500 となります。
2	炭素繊維巻立て工Aの含侵接着樹脂塗布量について、設計図の炭素繊維シート施工断面図に、細内川橋は下塗り 0.6kg/m ² +上塗り 0.6kg/m ² であり、九升田橋は下塗り 0.4kg/m ² +上塗り 0.2kg/m ² との記載があります。記載の通り、橋梁毎に異なる含侵接着樹脂塗布量で見積すればよろしいでしょうか。	施工断面図に記載されている含浸エポキシ樹脂下塗り、上塗りの塗布量に関しては削除いたします。貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上願います。後日、訂正公告いたします。
3	炭素繊維巻立て工Aの含侵接着樹脂塗布量について、細内川橋の設計図の炭素繊維シート施工断面図に、200g/m ² から 600g/m ² の異なる目付量において同量の含侵接着樹脂塗布量が記載されていますが、記載の通りの含侵接着樹脂塗布量で見積すればよろしいでしょうか。	施工断面図に記載されている含浸エポキシ樹脂下塗り、上塗りの塗布量に関しては削除いたします。貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上願います。後日、訂正公告いたします。
4	炭素繊維巻立て部にディスクサンダーによるコンクリート表面処理工は不要でしょうか。ご教示ください。	17- (25) 炭素繊維巻き立て下地処理工で計上しています。
5	既設保護コンクリートの撤去方法は、ウォータージェット工法でしょうか。撤去方法についてご教示ください。	人力取壊しを想定しています。貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上願います。
6	支払い条件に記載がありませんが、九升田橋 設計図 18/36 の通り、チップング、プライマー塗布も工事費に含まれるのでしょうか。	保護コンクリート復旧工の工事費にチップング、プライマー塗布も含まれます。

7	鉄筋質量表、継手数量表の記載が設計図にありませんので、ご提示ください。	<p>設計図 19/69 鉄筋質量表、継手数量表については下表のとおりです。後日、訂正公告いたします。</p> <table border="1" data-bbox="842 304 1382 501"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>径</th> <th>長さ (mm)</th> <th>本数</th> <th>単位重量 (kg/m)</th> <th>1本当り重量 (kg)</th> <th>質量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C 1 - 1</td> <td>D22</td> <td>12000</td> <td>69</td> <td>3.04</td> <td>36.5</td> <td>2.519</td> </tr> <tr> <td>C 1 - 2</td> <td>D22</td> <td>11900</td> <td>69</td> <td>3.04</td> <td>36.2</td> <td>2.498</td> </tr> <tr> <td>C 2 - 1</td> <td>D22</td> <td>11000</td> <td>69</td> <td>3.04</td> <td>33.4</td> <td>2.305</td> </tr> <tr> <td>C 2 - 2</td> <td>D22</td> <td>9500</td> <td>69</td> <td>3.04</td> <td>28.9</td> <td>1.994</td> </tr> <tr> <td>C 2 - 3</td> <td>D22</td> <td>3400</td> <td>69</td> <td>3.04</td> <td>10.3</td> <td>0.711</td> </tr> <tr> <td>C' 1</td> <td>D19</td> <td>11534</td> <td>320</td> <td>2.25</td> <td>26.0</td> <td>8.320</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>D22計</td> <td>10.027</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>D19計</td> <td>8.320</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>合計</td> <td>18.347 t</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="842 517 1209 568"> <tbody> <tr> <td>C 1</td> <td>D22</td> <td>ガス圧接</td> <td>69*1</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>D22</td> <td>ガス圧接</td> <td>69*2</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計</td> <td>207箇所</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="842 584 1209 613"> <tbody> <tr> <td>C' 1</td> <td>D19</td> <td>フレア溶接</td> <td>160*2</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計</td> <td>320箇所</td> </tr> </tbody> </table>	種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (t)	C 1 - 1	D22	12000	69	3.04	36.5	2.519	C 1 - 2	D22	11900	69	3.04	36.2	2.498	C 2 - 1	D22	11000	69	3.04	33.4	2.305	C 2 - 2	D22	9500	69	3.04	28.9	1.994	C 2 - 3	D22	3400	69	3.04	10.3	0.711	C' 1	D19	11534	320	2.25	26.0	8.320							D22計	10.027							D19計	8.320							合計	18.347 t	C 1	D22	ガス圧接	69*1	69	C 2	D22	ガス圧接	69*2	138	合計				207箇所	C' 1	D19	フレア溶接	160*2	320	合計				320箇所
種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (t)																																																																																														
C 1 - 1	D22	12000	69	3.04	36.5	2.519																																																																																														
C 1 - 2	D22	11900	69	3.04	36.2	2.498																																																																																														
C 2 - 1	D22	11000	69	3.04	33.4	2.305																																																																																														
C 2 - 2	D22	9500	69	3.04	28.9	1.994																																																																																														
C 2 - 3	D22	3400	69	3.04	10.3	0.711																																																																																														
C' 1	D19	11534	320	2.25	26.0	8.320																																																																																														
						D22計	10.027																																																																																													
						D19計	8.320																																																																																													
						合計	18.347 t																																																																																													
C 1	D22	ガス圧接	69*1	69																																																																																																
C 2	D22	ガス圧接	69*2	138																																																																																																
合計				207箇所																																																																																																
C' 1	D19	フレア溶接	160*2	320																																																																																																
合計				320箇所																																																																																																
8	ライナープレートの縦梁と切梁の寸法、重量のわかる資料をご提示いただけないでしょうか。	ライナープレートの縦梁と切梁の寸法は設計図 24/69、25/69 に記載のとおりです。また、重量は材料表より計算願います。																																																																																																		
9	割掛対象表で構造物掘削 特殊部Aは仮設材等運搬費の対象になっていません。構造物掘削 特殊部Aのライナープレート、縦梁、切梁の運搬費は、見積対象外でしょうか。ライナープレート、縦梁、切梁の運搬費の計上の有無をご教示ください。	構造物掘削 特殊部Aのライナープレート、縦梁、切梁の運搬費は、構造物掘削 特殊部Aに含んでおります。																																																																																																		
10	設計図 足場工(1)、足場工(2)に、シート張り防護工の記載がありません。シート張り防護工は計上されていないと考えてよろしいですか。	第三者被害が想定される箇所（細内川橋 A1 P1 P3 P12 A2、九升田橋 P3 P12 A2）はシート張り防護工が必要と想定しています。貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上願います。																																																																																																		
11	特記 30-6 において 防護柵 種別が追加されていますが、構造等がわかりません。構造図等をご教示ください。	防護柵標準図集の Gr-Am-Mo の支柱部を参照して下さい。																																																																																																		
12	設計図面 九升田川橋 31/36 の参考図と数量計算書の内容が異なります。参考図には「基礎については、地盤条件等から計算し決定」と記載されていますが、水路との離隔、水路構造、地盤情報、地耐力等が確認できません。どのように考え計上するのか、ご教示ください。また、地耐力確認のための平板載荷試験費用が計上されているかご教示ください。	参考図の工事用仮橋に関する費用は設計図（参考図）の記載内容に基づいて必要な費用を計上願います。現地条件の変更に伴う工事用仮橋の変更は別途監督員と受注者とで協議するものとします。 なお、貸与資料である数量計算書等設計業務成果品は参考資料であり、特記仕様書、図面、共通仕様書の契約書類の記載内容を優先します。																																																																																																		

1 3	<p>特記 30-8-3 支払 (1) 縁端 拡幅工 の中に 「コンクリートには 打継表面処理を含む」と記載されていま す。</p> <p>別単価項目「耐震補強用コンクリート表 面処理工」の数量には、縁端拡幅 B の処理が計上されていますが、他に「チ ッピング」を計上し入念に処理するとの 考えか、ご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 30-8-3 支払 に記載の打継表面処理 は施工中の打継を想定しています。既設コンク リート打設面の粗面化及び清掃は、耐震補強用 コンクリート表面処理工となります。</p>
1 4	<p>削孔機種について 数量計算書に 九 升田：コア 細内川：削岩機と記載があ りますが、この通りとしてよろしいか、 ご教示ください。</p>	<p>交付図書に削岩機の記載はありません。 なお、貸与資料である数量計算書等設計業務成 果品は参考資料であり、特記仕様書、図面、共 通仕様書より優先することはありません。</p>
1 5	<p>RC 巻立て工の天端に施工する無収縮モ ルタルの型わく計上方法。 契約 NO7 型わく TH に モルタル施工分は計上さ れていません。契約 NO50 無収縮モルタ ル工に合成計上 (数量は仕上げ高さ+ 0.05m) としてよろしいか、ご教示くだ さい。</p>	<p>無収縮モルタル分の型わくは型わく TH に含ま れています。</p>
1 6	<p>撤去時の購入材 (RC-40) の処理につい ては、特記 30-21-3 施工 に記載されて いる余剰土と考え今回は計上せず。後日 追加と考えてよろしいか、ご教示くだ さい。</p>	<p>特記仕様書 30-21-3 施工に記載のとおり、別途 監督員と受注者との協議するものとします。</p>
1 7	<p>数量計算書から 埋戻し土が不足しま す。埋戻し土は、特記 30-3-2 (4) に「現 場発生材で行う」と記載されています。 各々、仮置きした箇所から必要数量を客 土運搬し施工と考えてよろしいか、ご教 示ください。</p>	<p>交付図書より算出願います。 なお、貸与資料である数量計算書等設計業務成 果品は参考資料であり、特記仕様書、図面、共 通仕様書より優先することはありません。</p>
1 8	<p>P3 の掘削数量の考え方。P3 下り線側 に油水分離ますがあります。耐震補強施 工前に掘削し撤去すると考えますが、構 造物掘削 普通部 B の掘削断面には控 除されていません。</p> <p>油水分離ますと耐震補強との施工手順 をご教示ください。(油水分離ます撤去 時は地盤面まで埋戻す?)</p>	<p>特記仕様書 30-3-2 施工 (1)現地盤高の確認、 (4)構造物掘削の埋戻し材に基づき別途監督員 と受注者との協議するものとします。</p>

19	特記 30-3-1 構造物掘削の作業内容において、「飛散防止対策」とあります。特記 18-5 に目的が記載されていますが、事務所において参考図等があれば、ご教示ください。	参考図はありません。
20	図面、単価表では、1種としていますが、計算書第7章 P310 総括表では2種とあります。 1種でよろしいか、ご教示ください。	交付図書のとおり1種で費用計上して下さい。 なお、貸与資料である数量計算書等設計業務成果品は参考資料であり、特記仕様書、図面、共通仕様書より優先することはありません。
21	アスカーブの寸法は、H=120mm でしょうか。または、H=160 mm でしょうか。アスカーブ寸法についてご教示ください。	設計要領 第一集 舗装建設編 縁石の構造参照 願います。(アスファルト縁石寸法 H=120 mm)
22	撤去した硬質塩化ビニル管、塩ビ製フレキシブルパイプの処分先をご教示ください。	特記仕様書 20-2 建設副産物の処理方法等 について、後日、訂正公告いたします。